

那須高校も地域の魅力の一つ

だっぷラジオによる地域メディア体験講座



NATAKA
no.36

那須高校タイム

黒田原駅前商店街に拠点を置くローカルインター「だっぷラジオ」の局長木下愛貴さんと副局長増山このみさんを招き、那須高校1・2学年の生徒を対象とした地域講話および実体験ワークショップを開催しました。

木下さんと増山さんは、地域に根ざしたメディアとしての役割や、那須地域の魅力と課題、地域住民の声を発信することの重要性について、実際の放送事例を交えながらお話ししていただきました。また、「那須高校も那須の魅力の一つである」と語ってください、「今回生徒の皆さんと交流できることをとても嬉しく思う」とのお言葉もいただきました。

後半は、生徒たちが実際にラジオ体験を行うワークショップを実施しました。グループに分かれ、その中で役割分担を行い、パーソナリティ、ディレクター、ゲストなどに分かれて、「那須高校の魅力を発信して、那須町を盛り上げよう!」をテーマに台本作りから模擬ラジオ体験まで行いました。



国際的な福祉活動に参加 動物園での特別な夜

とても楽しかった」「原稿があれば、実際のラジオに出演してみたい」といった感想があり、模擬ラジオは大いに盛り上りました。

今回の講話・ワークショップを通じて、生徒たちは地域メディアの重要性を理解するとともに、情報発信の楽しさと責任を体験することができました。授業後、多くの生徒が「今度は本当にだっぷラジオに出演したい」と目を輝かせて話していました。生徒たちの熱意を大切に、今後も地域との連携を深めていきたいと思います。



栃木県立那須高等学校

那須町大字寺子乙3932-48 TEL/0287(72)0075

tochigi-edu.ed.jp/nasu

「那須高校タイム」は生徒会の生徒と
高校魅力化コーディネーターが共に作るページです

最後に、ボランティア証明書の贈呈式も行われ、参加した生徒からは「また来年も力になりたい!」という声が上がり、今回の体験で成長を感じました。那須どうぶつ王国の皆様、大変お世話になりました。
(コーディネーター 佐藤達夫)

那須どうぶつ王国で開催された「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」のボランティアスタッフとして、本校生徒9人と教員が参加しました。

このイベントは、障がいをもつお子さんとそのご家族を閉園後の動物園に招待し、楽しいひとときを過ごしてもらうための国際的な活動で、本校も昨年に引き続きお手伝いをしました。

ボランティア内容は、入場ゲートでのお出迎え、「カピバラの森」での餌やり補助、ドア開閉の補助、退園者のお見送りなど多岐にわたりました。生徒たちは来場者に笑顔で接し、温かい雰囲気でボランティアを行いました。